



GfK Japan Certified
生活家電

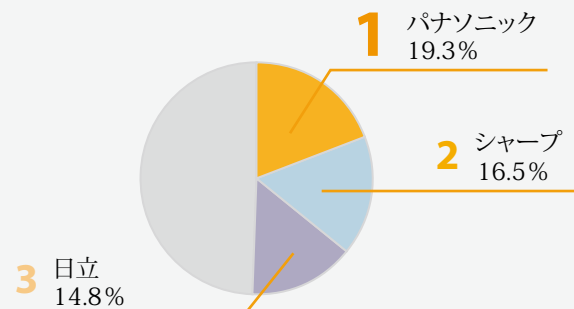
期間
基準
調査方法

2011年1月期～2011年12月期（年間合計値）
メーカー別数量シェア
全国有力家電量販店の販売実績（データベース名称：ACSISS-E）より算出

GfK Certified 2011

概要

冷蔵庫

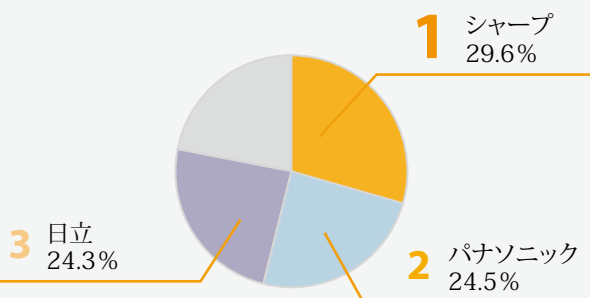


カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
冷蔵庫	1	パナソニック	19.3%
	2	シャープ	16.5%
	3	日立	14.8%

エコポイント制度、猛暑により前年に需要が集中した反動で、数量前年比 10.4% 減のマイナス成長となった。ラインアップの充実により 45L 以上の大容量クラスの数量構成比は前年から 3.0% ポイント増の 27.7% となった。パナソニックはシェア 19.3% を占め、6 年連続の首位を獲得した。小容量モデルの「NR-B143W」が年間最多販売モデルとなったことに加え、大容量クラス（40L 以上）も「エコナビ」訴求が奏功し安定した販売となった。シャープはプラズマクラスター搭載モデルのラインアップを拡大し、小容量クラス（200L 以下）、中容量クラス（201～400L）を中心に支持を集め、前年同様 2 位となった。

37

オープン電子レンジ

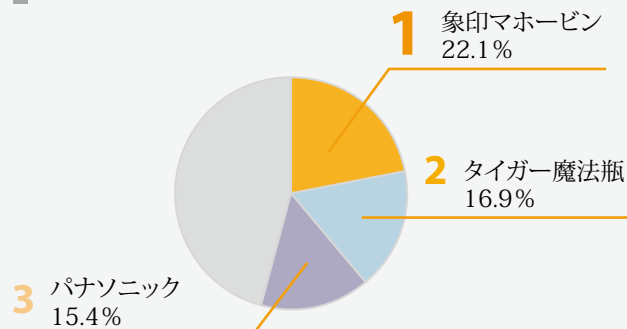


カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
オープン電子レンジ	1	シャープ	29.6%
	2	パナソニック	24.5%
	3	日立	24.3%

内食志向や、スチームケースなどの調理グッズが注目を集めたことを背景に、数量前年比 6.1% 増と前年に続きプラス成長となった。シャープはスタンダードモデルから過熱水蒸気搭載の「ヘルシオ」まで幅広く人気を集め、シェア 29.6% で 6 年連続首位を堅持した。パナソニックはシェアを 1.8% ポイント拡大し 24.5% を占め、前年から順位を一つ上げ 2 位にとなった。スチームオープンレンジ「ビストロ」シリーズが牽引した。3 位の日立は過熱水蒸気搭載タイプにおいてモデル別数量ランキング 1～3 位を独占し、同タイプにおけるトップシェアを獲得した。

38

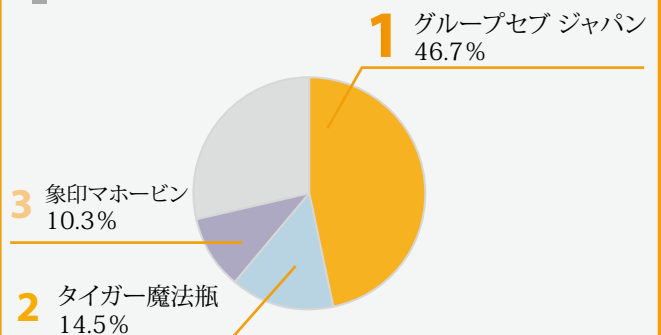
炊飯電子ジャー



カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
炊飯電子ジャー	1	象印マホービン	22.1%
	2	タイガー魔法瓶	16.9%
	3	パナソニック	15.4%

39

電気ケトル



カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
電気ケトル	1	グループセブ ジャパン	46.7%
	2	タイガー魔法瓶	14.5%
	3	象印マホービン	10.3%

40



GfK Japan Certified
生活家電

期間
基準
調査方法

2011年1月期～2011年12月期（年間合計値）

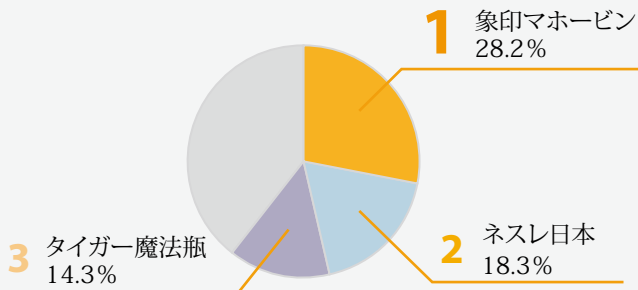
メーカー別数量シェア

全国有力家電量販店の販売実績（データベース名称：ACSISS-E）より算出

GfK Certified 2011

概要

コーヒーメーカー



カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
コーヒーメーカー	1	象印マホービン	28.2%
	2	ネスレ日本	18.3%
	3	タイガー魔法瓶	14.3%

数量前年比 12.4% 増の二桁成長となった。前年から 6.8% ポイント数量構成比を拡大したエスプレッソマシンが市場を押し上げた。簡単・手軽に何種類ものドリンクを作ることができるエスプレッソマシンはシアトル系コーヒーショップやカフェの人気を背景にここ数年急速に市場を拡大している。結果、カプセル使用のエスプレッソマシン「ドルチェグスト」などを中心に展開するネスレ日本がシェアを拡大し 2 位に躍進した。首位の象印と 3 位のタイガーは、ドリッブ式において安定した販売を維持した。

41

電気プレート

カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
電気プレート 「ホットプレート・汎用鍋」	1	象印マホービン	27.3%
	2	山善	23.0%
	3	タイガー魔法瓶	17.9%

42

ジューサー

カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
ジューサー	1	テスコム電機	35.5%
	2	パナソニック	20.6%
	3	象印マホービン	18.1%

43

浄水器

カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
浄水器	1	東レ	32.6%
	2	三菱レイヨン	27.7%
	3	パナソニック	24.4%

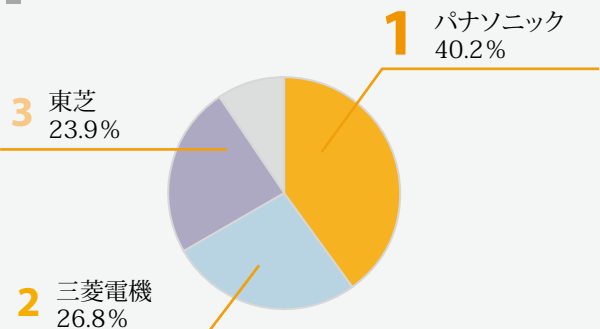
44

ミキサー

カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
ミキサー	1	テスコム電機	39.3%
	2	象印マホービン	9.5%
	3	パナソニック	9.2%

45

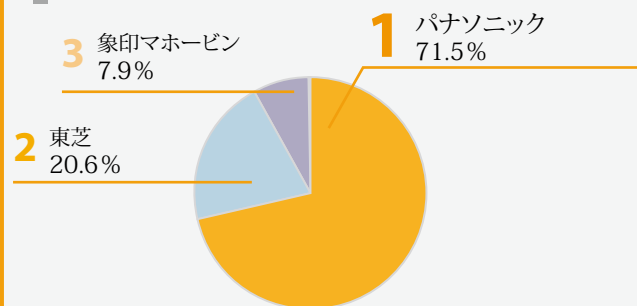
クッキングヒーター



カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
クッキングヒーター	1	パナソニック	40.2%
	2	三菱電機	26.8%
	3	東芝	23.9%

46

食器洗い機



カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
食器洗い機	1	パナソニック	71.5%
	2	東芝	20.6%
	3	象印マホービン	7.9%

47



GfK Japan Certified
生活家電

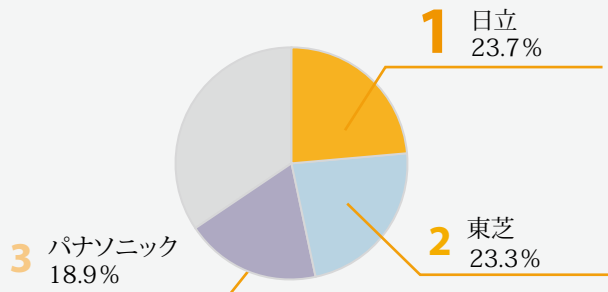
期間
基準
調査方法

2011年1月期～2011年12月期（年間合計値）
メーカー別数量シェア
全国有力家電量販店の販売実績（データベース名称：ACSISS-E）より算出

GfK Certified 2011

概要

洗濯機

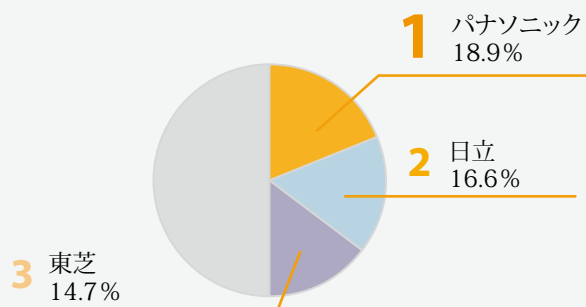


カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
洗濯機 「全自洗」	1	日立	23.7%
	2	東芝	23.3%
	3	パナソニック	18.9%

前年に続き、数量前年比3.7%増のプラス成長となった。縦型は同4.6%増と、乾燥機能付きタイプなどを中心に市場をけん引した。2006年以降シェアを拡大してきた日立が23.7%を獲得し、初めて首位となった。縦型においてはスタンダードモデルに加え、「ビートウォッシュ」シリーズが支持を集めた。0.4%の僅差で2位となった東芝は「AW-42SJ」が最多販売モデルになるなど、縦型の小容量クラス（5Kg台以下）において特に安定した販売を確保した。3位のパナソニックはラインアップ拡充によりドラム式が好調に推移、同方式におけるシェアは4割近くに達した。

48

クリーナー



カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
クリーナー	1	パナソニック	18.9%
	2	日立	16.6%
	3	東芝	14.7%

数量前年比3.4%増と、2年連続でプラス成長となった。吸引・集じん性能の強化や使い勝手の向上といった訴求が需要を喚起したと推測される。タイプ別数量構成比をみると、紙パック式の割合が減少した一方、サイクロン式が前年から1.5%ポイント、スティックタイプが1.8%ポイント、ロボットタイプが1.5%ポイント拡大した。パナソニックは構成比が最も高い紙パック式において特に支持を集め、6年連続の首位となった。日立は中級モデルを中心に手堅い販売で2位を維持。3位の東芝は1万円以下のリーズナブルなモデルから上位シリーズの「トルネオ」まで、幅広く人気を集めた。

49

アイロン

カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
アイロン 「スチームアイロン」	1	東芝	32.4%
	2	パナソニック	32.3%
	3	三洋電機	13.0%

50

男性用シェーバー

カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
男性用シェーバー	1	パナソニック	42.0%
	2	GILLETTE	24.1%
	3	日立	9.9%

51

体組成計

カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
体組成計	1	タニタ	38.7%
	2	オムロン	32.3%
	3	パナソニック	14.5%

52

電動歯ブラシ

カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
電動歯ブラシ 「デンタルケア」	1	パナソニック	57.8%
	2	GILLETTE	9.4%
	3	フィリップス エレクトロニクスジャパン	8.4%

53



GfK Japan Certified
生活家電

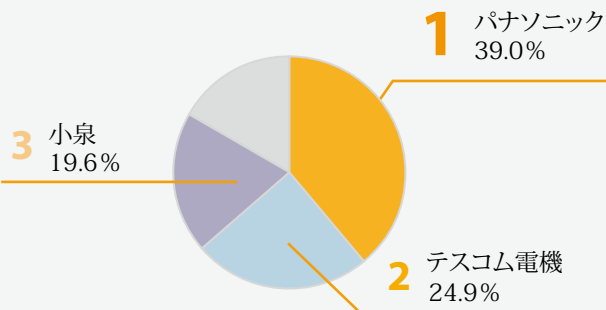
期間
基準
調査方法

2011年1月期～2011年12月期（年間合計値）
メーカー別数量シェア
全国有力家電量販店の販売実績（データベース名称：ACSISS-E）より算出

GfK Certified 2011

概要

ドライヤー

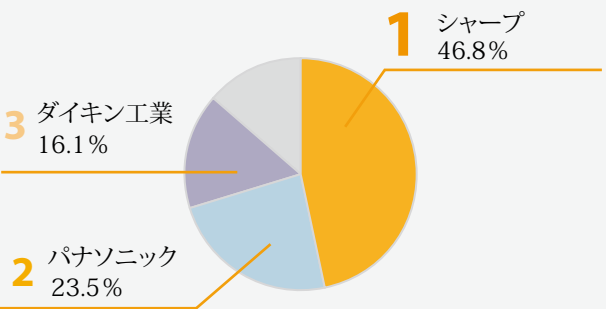


カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
ドライヤー	1	パナソニック	39.0%
	2	テスコム電機	24.9%
	3	小泉	19.6%

理美容家電市場の好調を下支えするドライヤーは数量前年比3.5%増と、2010年に続きプラス成長となった。うるおい効果が高いとされる「ナノイオン」搭載タイプは数量前年比8.9%増となり、構成比は17.0%に達した。パナソニックが39.0%と4割近いシェアを獲得して首位を維持。最上位モデルの「EH-NA93」はうるおいだけでなく「地肌ケア」訴求などにより、市場平均の倍以上の価格帯にも関わらず年間最多販売モデルとなった。コイズミとテスコムは、デザイン性と値ごろ感を両立したモデル展開により、前年同様2位と3位を確保した。

54

空気清浄機



カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
空気清浄機	1	シャープ	46.8%
	2	パナソニック	23.5%
	3	ダイキン工業	16.1%

55

温水洗浄便座

カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
温水洗浄便座	1	パナソニック	47.9%
	2	TOTO	27.0%
	3	東芝	14.6%

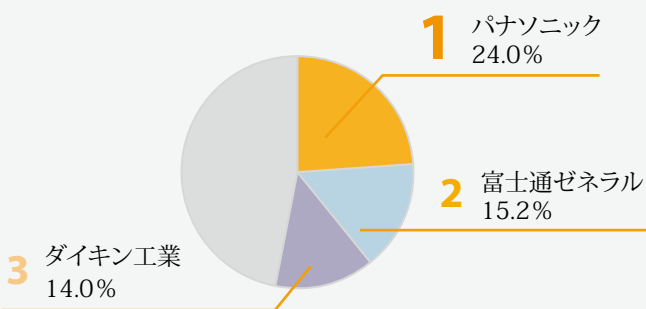
56

シーリングライト

カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
シーリングライト 「シーリングライト」 「LEDシーリングライト」合算	1	パナソニック	33.0%
	2	NEC	14.6%
	3	東芝	6.4%

57

セパレートエアコン



カテゴリ名/抽出	順位	メーカー名	年間シェア
セパレートエアコン 「セパレート型エアコン」	1	パナソニック	24.0%
	2	富士通ゼネラル	15.2%
	3	ダイキン工業	14.0%

58

冷蔵庫同様、前年の特需の反動から、数量前年比は16.3%減となった。しかしながら、節電対策として最新モデルへの買い換えが進んだことから一定の需要を維持した。パナソニックはスタンダードモデルから高級モデルまで幅広く支持を集めた結果、シェアを前年から1.6%ポイント拡大し5年連続の首位となった。前年に続き2位となった富士通ゼネラルは大型クラス（4.0KW以上）を中心にシェアを拡大、前年から0.9%ポイント増の15.2%を獲得した。また3位となったダイキンも前年からシェアを拡大した。